



11月号 令和4年10月31日
茅ヶ崎市立鶴が台小学校
校長 渡邊 美和

学校教育目標： 心豊かに 未来を生き抜く力を育む ～「小さな学校 大きな家族」～

早いもので暦の上では冬、11月7日は立冬です。つい最近まで冷房を使っていたのに、このごろは暖房を入れる日もあります。寒い時季となってきますが、換気に気を付けながら学習活動を行っていきたいと思います。今月、5年生はキャンプが、また各学年も校外学習等が予定されています。安全に、楽しく学ぶことができればよいと思っています。

後期始業式での話

10月13日(木)より後期が始まりました。始業式は放送で行いましたが、一日でも早く全員で集まって、子どもたちの顔を見ながらお話ができるようになるとうよいと思っています。校長の話としては、「来年の4月を目指して、どんな自分になりたいかをイメージしてみよう！目標をたてて、後期から意識しながら取り組んでいこう！！」という話をしました。何気なく過ごし、あっという間に新しい学年に進級となりがちです。子どもたちには、自分の力を高めながら過ごしてほしいです。

また、夏休みに取り組んだ、読書感想文コンクール、創意工夫作品展の表彰をしました。放送朝会后、教室に行き受賞した児童に賞状を渡しました。また来年の取り組みの刺激になったのではと思います。

学校へ行こう週間

今年度の「学校へ行こう週間」は11月17日(木)、18日(金)、19日(土)の3日間です。19日には、子どもたちがとても楽しみにしている『ハッピーマーケット』があります。

現在、全校遠足や授業で日頃より活動してきた縦割りのグループごとにお店を出す計画を立て、準備をしています。5、6年生を中心に、どうしたらグループのみんなで仲良くできるか、たくさんお客さんを呼び楽しませることができるか一生懸命に考えて活動しています。いろいろとやることや心配りすることがあり、5、6年生は本当に大変だと思います。でもリーダーとしてよく頑張っていて、グループのみんなが高学年を頼りにしています。代々の先輩たちから、しっかりと想いを引き継いでいます。

この異年齢の集団がまとまり、自分たちの願いに向かって努力する経験を通して、本校の重点目標【「ひと・もの・こと」との豊富なかかわり合いの中で、心豊かに未来を生き抜く力をつける】ことに近づけることができるとしています。コロナウィルス感染症の地域感染レベルが2になってしまうと、学校へ行こう週間が実施できなくなってしまう、保護者の皆様に活動の様子をご覧いただけなくなってしまうかもしれませんが、子どもたちのがんばっている姿をご覧いただけることを願っています。

1、2年遠足 新江ノ島水族館

先週28日(金)に、1、2年生で新江ノ島水族館に出かけました。よいお天気の中、午前中はクラスごとに、午後は1、2年生混合のグループで見学しました。2年生が1年生を見守り声をかけながら活動する様子は、とても頼もしく、成長した姿を見せてくれました。また、1年生も緊張しながらもグループ活動を楽しんでいました。お互いに貴重な経験になりました。縦割り活動は、来年の自分たちの活動のお手本を体験しながら学んでいくことができ、とても有意義なものだと感じています。

